

## 市長の窓

しげ のぶ  
滋宣の

ぼう ちゅう かん

あん ちゅう めい



イラスト  
小熊真二さん

“忙中閑あり 暗中明あり”

その 52

～ 雪解 ～

朝方に、雪どけ水が屋根をたたく音に目を覚まし、春の訪れを感じると共に、心の中に温かな空気が流れ、ほっと安堵のため息をつくのは、雪国の厳しい冬を過ごしてきた人たちの共通の想いだと思います。

雪がとけることを「雪解」、雪がとけて川に流れ込む水を「雪代」といい、同じ雪どけ水を「雪汁」ともいいます。とけた水が雪を押し流し消し去る様子を表したのが「雪消し水」。

暖かくなってきた日差しの中で、まだ残っている雪景色の中を流れる川を見るだけで、春の訪れを首を長くして待つ雪国に住む我々は、心がわくわくし元気になります。

雪代の光あまさず昏るるなり  
(岸田稚魚)

能代市長 齊藤 滋宣



能代ミュージカルに出演し、「竹取物語」のおじいさんを演じました。(2月23日、能代市文化会館)